

株主・投資家の皆様へ

# E-G 通信

第15期 第2四半期

2011年10月1日～2012年3月31日

掲示板監視・投稿監視・ユーザーサポートの

イー・ガーディアン株式会社

証券コード: 6050

## Build Happy Internet Life

# ソーシャルゲームとソーシャルメディアの市場 拡大を取り込み、 企業のカスタマーサポートをネット上で代行する「新しい市場」を創造します。

**Q1** 2012年9月期 第2四半期の決算について、  
どう評価されていますか。

**A1** おかげさまで当初の予想を大幅に上回りました。

まず売上高については、10億34百万円、営業利益も22百万円で、ともに当初の予想を大幅に上回りました。その要因の一つがソーシャルゲーム市場の拡大です。当社は、他社に先駆けてソーシャルゲームの24時間サポート体制を構築するなど、この市場拡大に迅速に対応することで、この分野での業績を伸ばすことができました。

もう一つ上期に達成できたこととしては、ソーシャルWEBサービス向けプラットフォームである「E-Trident」という自動投稿監視システムの完成があります。一部先行稼働していましたが、この2月に最終形が完成して本格稼働が始まり、すでに売上や利益面での効果が表れ始めています。

**Q2** 2012年9月期の業績見通しについては  
いかがでしょう。

**A2** ソーシャルゲーム分野が収益源となり、  
売上高は過去最高を更新する見込みです。

2012年9月期の売上高は21億5百万円と、当社として初の20億円を突破することが予想されます。まずソーシャルゲーム分野ですが、下期も伸びは継続すると考えています。市場の拡大に応じて不正アクセス等も増加すると予測され、これを防ぐための不正検知サービス等へのニーズも強まってきています。この分野に関しては新規の設備投資は不要であり、ソーシャルゲームに精通した人材を確保して万全の体制を築いています。

ソーシャルメディアについては、「Facebook」が昨年後半から急速に会員数を伸ばし、株式上場が大きな話題になるなど注目されました。しか

し、大手企業が採用やプロモーションで「Facebook」を本格活用するのはこの下期からで、当社への引き合いも大手企業から相次いでいますし、この分野の普及により風評調査などの業務も増加するものと思われます。

したがって、通期については既存の投稿監視が安定的に業績を下支えし、さらにソーシャルゲーム分野の伸びが収益を牽引することで目標達成できる見通しです。

**Q3** 競合他社の上場もありましたが、  
貴社の競争優位はどこにありますか。

**A3** 自動投稿監視システム「E-Trident」や  
ソーシャルメディア対応の先行性です。

本格稼働した「E-Trident」の最大の長は、ベイズ理論\*1を組み込んだシステム自体が持つ学習能力です。人間による投稿監視での判断を学習していくため、次第に精度が高まってミスが減少するとともに監視効率も向上していきます。この「E-Trident」はクライアントにとってはコストダウンにつながり、当社にとっては効率化だけでなくサービスの高付加価値化に貢献します。他社の投稿監視からスイッチングしやすく、すでに多くの企業から引き合いがあります。競合他社にとっては、同様のシステムをこれから開発するには時間と投資が必要になるため、当社の大きな競争優位となります。

もう一つは急成長するソーシャルメディア市場への対応です。他社に先駆けてすでに専門部門を創設し、ここに下期から来期にかけて人材投資を重点的に進めていきます。また、ソーシャルメディア分野で大手広告代理店との提携を先行させている点も、競合他社にはない当社の強みです。



**Q4** 中長期的な事業戦略についてお話しください。

**A4** 海外展開の開始と新たな将来像について  
お話しします。

海外展開については、ソーシャルゲーム等のクライアント企業が強化しており、その動きに当社も歩調を合わせていきます。そのために現地企業と提携しての進出が有利なのか、独自進出がよいのか、提携する場合にはどの企業と可能なか等を調査・検討し、本格的に海外展開を目指します。

また、今後の当社が目指すべき将来像が一段と明確になってきました。アメリカの企業ではインターネットの活用で、カスタマーサポートのトータルコストを削減する動きが主流になっています。人手を要するコールセンター等の役割に代わるものとして、ソーシャルメディアやアクティブサポート\*2が活用されているのです。そして、この動きは日本でも間違いなく主流になってきます。つまり、コールセンター等の業務に代わる、インターネットを媒介にしたサポートの提供、すなわち「インターネット上のコンシェルジュセンター」になり「新しい市場」を創造することが、今後、当社が果たすべき役割だと考えています。

**Q5** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A5** 引き続き、企業価値の最大化で  
お応えしてまいります。

下期から来期にかけては、「E-Trident」の本格稼働による利益率の向上や、ソーシャルメディア分野での先行投資の回収が本格化します。このようにして得られる利益を企業価値の最大化のために再投資し、株主の皆様への利益還元を図っていく所存です。株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

高谷 康久

\*1 ベイズの定理とも呼ばれ、18世紀のイギリス人、トーマス・ベイズが発表した確率論の定理のことで、今日では、コンピュータによる推論等に活用され、迷惑メールの発見や分類などの作業の自動化(フィルタリング)といった情報の振り分けに利用される。

\*2 クライアント企業に代わり、エンドユーザーであるお客様からの問い合わせを待つだけではなく、困っている人をソーシャルメディア上で探し、能動的に支援を行うサービス。



1. 流動資産

売掛金の増加があったものの、法人税等の納付や配当金の支払いにより現金及び預金が減少したことにより、前事業年度末と比較して22,841千円減少し、950,285千円となりました。

2. 固定資産

以前より開発を開始した監視フィルタリングシステムの稼働に伴うソフトウェアの増加により、前事業年度末と比較して25,910千円増加し、267,520千円となりました。

四半期貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期 2012年3月31日現在	前事業年度 2011年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
1▶ 流動資産	950,285	973,126
2▶ 固定資産	267,520	241,609
有形固定資産	51,552	59,493
無形固定資産	154,364	118,549
投資その他の資産	61,602	63,566
資産合計	1,217,805	1,214,736
<b>負債の部</b>		
流動負債	285,233	285,749
固定負債	767	3,041
負債合計	286,001	288,791
<b>純資産の部</b>		
株主資本	931,804	925,945
資本金	337,326	337,326
資本剰余金	294,576	294,576
利益剰余金	299,922	294,043
自己株式	△ 20	-
純資産合計	931,804	925,945
負債純資産合計	1,217,805	1,214,736

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

四半期損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期 自2011年10月1日 至2012年3月31日	前事業年度 自2010年10月1日 至2011年9月30日
売上高	1,034,476	1,907,787
売上総利益	213,074	576,039
販売費及び一般管理費	190,949	399,100
営業利益	22,125	176,938
営業外収益	18,890	1,162
営業外費用	0	16,623
経常利益	41,015	161,477
特別損失	8,775	2,451
税引前四半期(当期)純利益	32,240	159,025
法人税等	17,952	70,905
四半期(当期)純利益	14,287	88,120

四半期キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期 自2011年10月1日 至2012年3月31日	前事業年度 自2010年10月1日 至2011年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,817	57,019
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 79,355	△ 159,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,165	370,232
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 46,703	267,574
現金及び現金同等物の期首残高	710,771	443,197
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	664,067	710,771

■ 売上高 (単位:百万円)

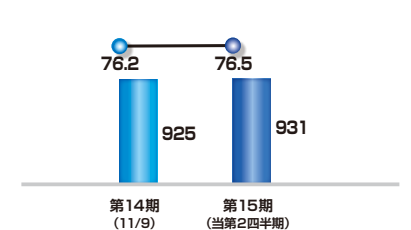
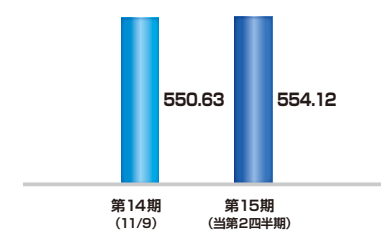
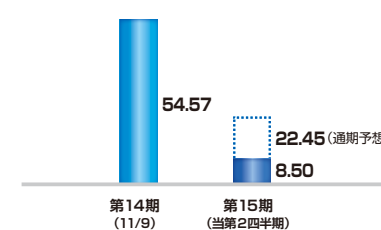
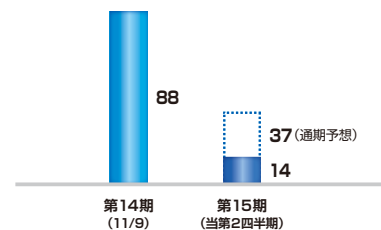
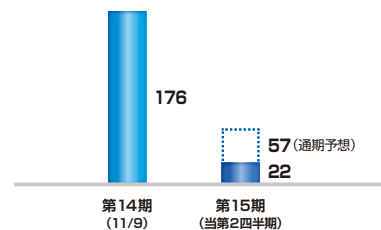
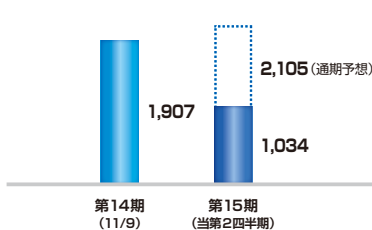
■ 営業利益 (単位:百万円)

■ 四半期(当期)純利益 (単位:百万円)

■ 1株当たり四半期(当期)純利益 (単位:円)

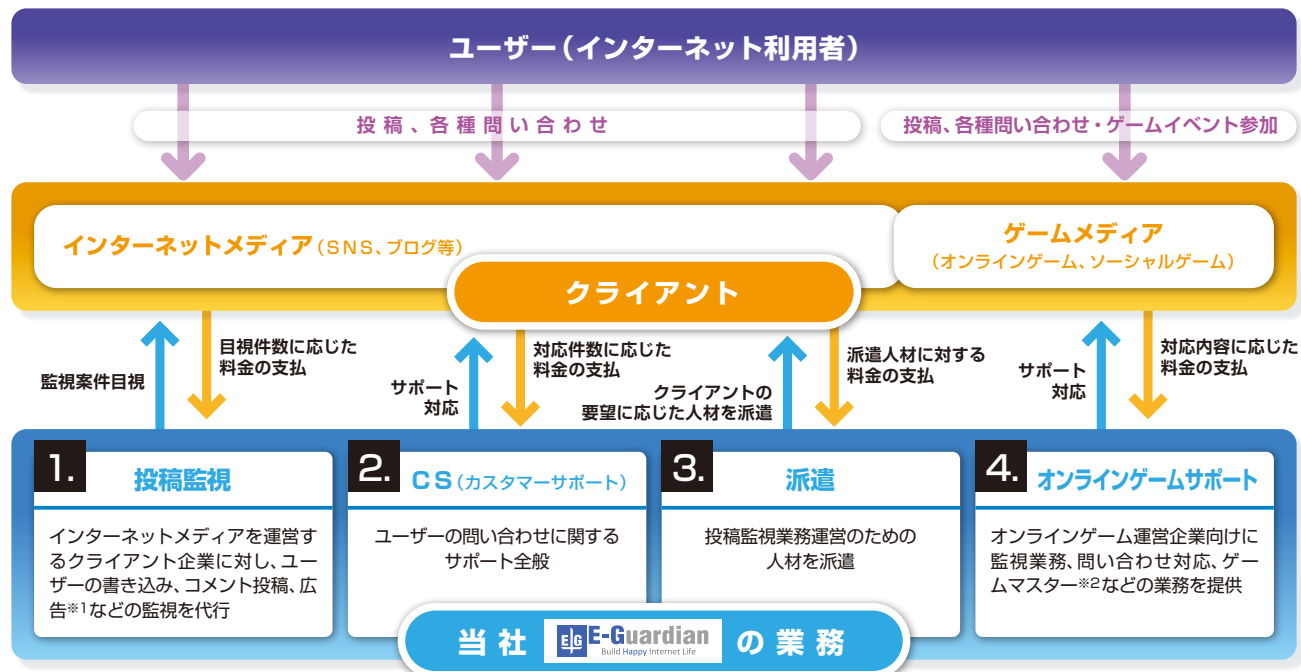
■ 1株当たり純資産 (単位:円)

■ 自己資本 (単位:百万円) / 自己資本比率 (単位:%)





当社では、掲示板投稿監視事業を4つの業務に区分しています。

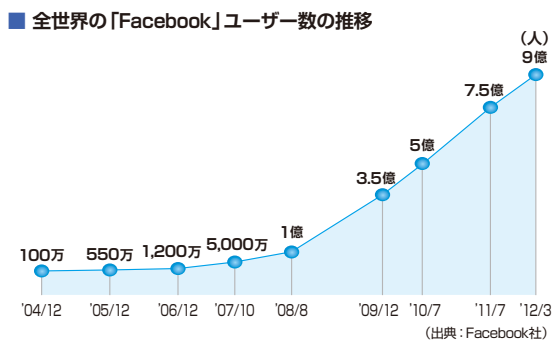


\*1 インターネット上の広告に対して、薬事法や景品表示法などの関連法に違反していないか、またリンク先が適正かなどを審査すること  
 \*2 オンラインゲーム上においてユーザーのパトロールや誘導を行うサポートスタッフ

コラム Column

「Facebook」って何？

米国Facebook社が提供する世界最大のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）のことです。利用者は実名登録制となっており、個人情報の登録が必要で、登録した個人情報を利用して関係者や同じ趣味を持つ人など、他の登録者とコミュニケーションを図ることが可能です。2004年12月に米国の学生向けにサービスを開始し、2006年9月の一般公開後は急速にユーザーが増え、2012年3月末で世界で9億人を超えました。一方国内でも、2008年5月のサービス開始から約3年半で、ユーザーが1,000万人を超えました。このように、SNS市場が引き続き拡大が見込まれる中、当社のビジネスチャンスもさらに広がる事が予想されます。



(2012年3月31日現在)

会社概要

商号 イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.  
 代表者名 代表取締役社長 高谷 康久  
 設立 1998(平成10)年5月  
 資本金 33,732万円  
 従業員数 500名(うち契約社員数417名)  
 本社 〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 4F  
 TEL : 03-5575-2561 FAX : 03-5575-0621

- センター所在地
- 東京センター  
 〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 6F  
 TEL : 03-5575-2562 FAX : 03-6675-3030
  - 六本木センター  
 〒106-0032 東京都港区六本木4-8-7 六本木三河台ビル 6F  
 TEL : 03-6846-4352 FAX : 03-6846-5216
  - 立川センター  
 〒190-0012 東京都立川市曙町2-10-1 ふどうやビル 10F  
 TEL : 042-847-3300 FAX : 042-847-3301
  - 大阪センター  
 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 20F  
 TEL : 06-6346-6080 FAX : 06-6346-6180
  - 宮崎センター  
 〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東4-1-2 宮崎野村證券ビル 7F  
 TEL : 0985-42-7900 FAX : 0985-42-7901

- 事業内容
- ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング
  - リアルタイム投稿監視業務
  - ユーザーサポート業務
  - オンラインゲームカスタマーサポート業務
  - コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務
  - コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務
  - 人材派遣業務

(2012年3月31日現在)

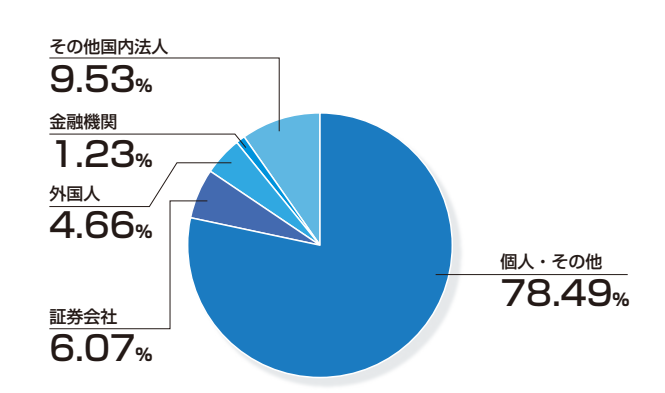
株式の状況

発行可能株式総数	5,400,000株
発行済株式の総数	1,681,600株
株主数	2,500名

大株主（上位10名）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高谷康久	151,500	9.00
夏目三法	98,000	5.82
グリー株式会社	70,000	4.16
ドイチェバンクアーゲー ロンドン ビービー ノンリティー クライアント 613 (常任代理人 ドイツ証券株式会社)	54,700	3.25
東森日出夫	52,000	3.09
松井証券株式会社	41,700	2.47
株式会社シーイー・モバイル	34,500	2.05
永徳克己	30,000	1.78
夏目理江	18,000	1.07
株式会社杉浩商店	18,000	1.07

所有者別株式数の分布状況



## ホームページのご紹介

ホームページでもさまざまな情報をご覧いただけます。

### トップページ

<http://www.e-guardian.co.jp/>



### 株主・投資家情報

<http://www.e-guardian.co.jp/ir/index.html>



## 株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 毎年12月に開催

公告方法 電子公告とする。  
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、  
日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載URL  
<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6050/6050.html>

株主名簿管理人 〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL：0120-782-031（フリーダイヤル）



イー・ガーディアン株式会社  
<http://www.e-guardian.co.jp/>

〒106-0045  
東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 4F  
TEL：03-5575-2561 FAX：03-5575-0621

